

私たちを育む水

私たち人間は生きています。友達と会話をしたり、遊んだり、勉強したり、歌を歌ったり。人間は生きている間にいろいろな事を学ぶと思います。そしてその活力のエネルギーとなっっているのが、食べ物です。食べ物は主に、肉、魚、野菜で出来ています。私が考えたのは、この三つがさらに何で出来ているか。それは「水」です。まず、肉は牛を育てる時に水が必要だし、魚は海水、淡水の中で生きないといけないから必要だし、野菜は水と二酸化炭素と日光で育つので必要です。だから、人間のエネルギーの源を探ると「水」になる、すなわち人間は、水に育まれているのではないかと考えました。肉、魚、野菜の食べ物の他に、「水」は飲み物としても使われています。水、ジュース、コーヒーなど、液体物はすべて「水」が元になっています。これらの

天川村立天川中学校 二年

山田 ほのか

「飲み物」は、人間にとって、とても大切なものです。例えば、「長距離を走つてのどが乾いたから水を飲む」この場合の「水」は、体温が上昇しているので汗を出すために水を飲む、という使い方です。もともと、水は、約四十六億年も昔につくられたこの地球にはありませんでした。その頃の地球は岩石でおおわれていて、その岩の中に水のもとになる水素や酸素がとじ込められていました。この岩石が地殻の熱で溶かされて溶け出してきた酸素と水素が結びついて「水」が出来ました。この水が水蒸気になり厚い雲となって地球をおおいました。そして地球に降り注いだ雨は岩石にふくまれていた炭素、窒素、ケイ素、さらにその奥にあるナトリウム、マグネシウム、カリウム、鉄、銅などを溶かし出しました。そうして、多くの

物質を多くふくんだ海が出来ました。というのが「水」の誕生です。だから、もし、この地球の岩石がなかったら、雲が出来ていなかったら、雨が降らなかったら、水は出来ていないから、地球から「水」が出来たのは奇跡の連鎖なんだなあと思いました。

約四十六億年も前の奇跡がないと今の私達の生活はありませんでした。今、生活している中で水が消えると、私達の食べ物、飲み物がなくなる。結果、食糧不足による飢え、栄養失調でみんな苦しんでしまう。水が消えるとお風呂やトイレが使えなくなって衛生面に問題が出てくる。このように水が使えなくなつては、人間は生きられなくなります。世界のいろいろな所で、食糧、飲める水を調達できず、飢えで困る方もたくさんいます。でも私達のような、きれいな飲める水を蛇口をひねると飲める、ましてや天川村洞川のごろごろ水を飲めるなんて、ぜいたくの塊だなあと日々痛感します。

地球が生まれて約四十六億年。「水」ができて、雨が降って、そしてできた今の世界。水の豊かな場所、そうでない場所。いろいろ

な環境があるけれど、今こうして生きているのは「水」のおかげだと日々感謝して生きていきたいと思えます。